

# パブリック・コメント 実施結果

令和 4 年 2 月

兵庫県丹波県民局

(別紙様式4)

### 提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : 丹波新地域ビジョン (案)  
意見募集期間 : 令和3年12月27日～令和4年1月17日  
意見等の提出件数 : 54件 (26人)

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
骨子	正直、どの項目においても内容が多く、一度目を通したくらいでは内容が入りづらい。 特に、概要での「将来像実現に向けた方向性」に関しては展開方向項目が多すぎる。 2050年展望で、2030年から取り組んで20年間でこの18項目をどれだけ取り組めるのか？少し不安がある。	1	[その他] 新ビジョンは、地域に関わるすべての個人・団体にとって望ましい地域の将来像を描いているため、多くの内容を盛り込んでいます。 18項目の展開方向については、プロジェクト毎にプロジェクトチームを結成し、様々な人が参画することで、実効的な取組み推進していきます。
骨子	骨子で、例えば「2050年に向けた環境変化」の「長期的な人口減少・高齢化」の3番目にある「還流対策」など、本編に記載のないワードを使用するのは再検討された方が良い。	1	[その他] 本文42ページ、展開方向⑰の<取組の方向性において>、「移住・還流対策」というワードを使用していることから、骨子においても同じワードを使用しております。
I わたしたちの丹波	丹波といえば「農」そして「黒枝豆の丹波」で新聞によれば2021年10月には60万人で賑わうなどの現状を鑑み、黒大豆(子実)という大豆類で括るのではなく、独立した特産品目として扱うべき(黒枝豆という表示が欠除)。	1	[ご意見を反映しました] ご意見を踏まえ、本文5ページに次のとおり記述を追加しました。  「・・・、粘りと甘みのある米、山の芋、猪肉(ぼたん鍋)、鹿肉、 <u>黒大豆枝豆</u> 、有機野菜など、・・・」
III 2050年に向けた環境変化	SDGsやカーボンニュートラルに基づき、丹波新地域ビジョン教育や支援、他地域へのアピールを少しずつでも進めてほしい。	1	[その他] ご意見のとおり、SDGsやカーボンニュートラルの考え方に沿って、丹波新地域ビジョンを推進していきます。

<p>Ⅲ 2050年に向けた環境変化</p>	<p>近年の技術革新やトレンドの流れは急激で、DXやSDGsなどの動きも、ここ20年以内に概念が生まれ、ここ数年で主流になりつつあるトレンドであることから、基本理念と在るべき姿は守りつつ、常に大きな社会変革やトレンドを捉えることも必要であるため、我々、商工会としても社会経済の分野において、協調・連携を取らせて頂きながら対応をして参りたい。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 DXやSDGsなど、時代の変化にも柔軟に対応し、新ビジョンの推進組織となる「プラットフォームTAMBA」において商工会を含む様々な主体とも協調・連携しながら、将来像の実現に向けた取組を推進していきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ①</p>	<p>P24中段〈取り組みの方向性〉 ・災害に強い豊かな森を広げるため、緊急防災林のほか、針葉樹林と広葉樹林の混交林等の整備や高齢人工林の更新を推進します。 部分の追加願います。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 高齢人工林を伐採したうえで、針葉樹林と広葉樹林の混交林等の整備を行うので、表現上、並列で記載しないこととしています。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ①、④</p>	<p>里山整備の現状においては最重要課題となっているのは、森林、里山の所有境(施業境)が明確でないため遅々として整備が進んでいないこと。 木質バイオマスの展開だが、燃料となる木質資源確保が最重要となる。理想的な未来予想を書くのであれば、その部分の具体的な課題解決を図る必要がある。 里山、森林に人が入る仕組みを構築するために、もう少し市民に山に興味を持ってもらう政策を共に考えたい。 境界が不明確であるならば、地域協議会などに信託預託するなどの新たな政策を考えていかなければ理想論でしかなくなる。 境界問題は人とのつながりの問題でもある。境界問題を少しでも記載していただけたら幸いだ。</p>	<p>1</p>	<p>〔ご意見を反映しました〕 地域社会活動の維持や、産業の振興のため、全国的に山林、農地のみならず、土地の地籍調査を進めているところです。 ご指摘の内容は、1－2の展開方向③のシンボルプロジェクト「持続可能なコミュニティ・プロジェクト」の＜推進すべき主な取組＞に次のとおり記述を追加しました。  ・<u>地籍の明確化：地籍調査の推進</u></p>

<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ③</p>	<p>丹波地域の大きな課題である公共交通の問題について、具体的な記載がないように思う。どのような解決策を講じていこうとされているのか。</p>	<p>1</p>	<p>〔ご意見を反映しました〕 ご意見を踏まえ、本文26,27ページに次のとおり記述を追加しました。</p> <p>&lt;取組の方向性&gt; 「・・・集落での日常生活の足の確保等、暮らしの維持に係る共助の取組も後押ししていきます。」</p> <p>&lt;推進すべき主な取組&gt; 「移動手段確保に向けた支援：コミュニティバスの運行支援、住民等が運行する移送サービスの立上げ支援」</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ④</p>	<p>丹波地域の約7割は森林であり、当社では、丹波地域のチップ加工会社取り扱い量の7割を既に燃料として使用している。しかし、その丹波地域を産地とする燃料は、当社が使用している燃料全体の内わずか3%程度と低い状況であり、他の97%の燃料は丹波地域以外のところから集荷している。</p> <p>当社では丹波地域から産出される燃料をさらに多く使用することで、この地域の森林資源の有効利用、引いては林業の再生、脱炭素社会に向けたCO2の抑制につなげる。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 県民局としてバイオマス燃料の安定供給体制の構築に取り組んでいきますので、引き続き、ご協力をお願いします。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑤</p>	<p>柏原の町を歩く度に氷上郡の中心地であった柏原が賑わいをなくしていることに心が痛む。歴史と伝統を有し、国県の公的機関が多く、かつ日赤病院跡地やJR柏原駅南西に広がる遊休地を活用しない手はない。一例として、産学官連携の点からして、数年前に丹波市が連携協定を結んだ武庫川女子大学のサテライトキャンパスの誘致が実現すれば最高だ。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 「まちの拠点創造プロジェクト」において、柏原地区を含む丹波地域の中心市街地を賑わいのあるまちに再生するため、都市機能整備を官民共同で推進します。</p> <p>大学のサテライトキャンパスの誘致など、産学官連携についても積極的に検討していきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑥</p>	<p>食べ物や他の生活資材の地域内循環は、環境の面や地域内での雇用創出、さらにはSDGsの観点から必要であり、重要と考える。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 本文30ページに記述しているように、2030年頃を目標に、域内（及び近隣地域）において循環型フードバリューチェーンの仕組みの構築を目指します。</p>

<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑥</p>	<p>地域農業の維持や農地の保全は、兼業農家によるところが大きい。兼業農家に対する施策を記載すべきである。</p>	<p>1</p>	<p>〔ご意見を反映しました〕 ご意見を踏まえ、兼業農家への対応に関する記述を、本文30,31ページに次のとおり追加しました。</p> <p>・2-1の展開方向⑥&lt;取組の方向性&gt; 「人口減少下における・・・、人材面では、経営感覚に優れた担い手の育成、半農半X、兼業農家等への支援による多様な担い手の確保等を進めます。」</p> <p>・同項目内の食文化ツーリズムプロジェクト&lt;推進すべき主な取組&gt; 「・地域農業の担い手育成：営農リーダーの育成や集落営農組織の組織化、新規就農者、兼業農家支援」</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑥</p>	<p>兼業農家の衰退で、専業農家に農地集約が進んできたが中山間地の農業には限界がある。 コロナ過でテレワークが推奨される中、生業と農業をいかに両立できるかをサポートする（いわゆる新規の兼業農家を増やす）必要がある。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 中山間地の農業については、衰退傾向ですが、農の持続可能性の向上に向けて、経営、環境、人材等の側面から営農環境の整備を目指していきます。 また、人材面では、経営感覚に優れた担い手の育成、半農半X等への支援により、兼業農家を含めた多様な担い手の確保等を進めていきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑥</p>	<p>デジタルに進むに連れて学習、資格取得、機械購入が高額化になり、逆に農業リタイヤするのではないかとその点のビジョンはないか。 三条申請の変化などのルールへの取り組みは？市内同士なら緩和などできないか。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 農業の持続化と効率化を進める上で、多様な担い手を育成していくことが必要不可欠で、県民局として経営能力の向上、インフラ整備に係る支援等を行っていきます。</p> <p>指摘の農地法第三条（利用権の設定等）の要件緩和については、法律の改正など手続きが必要となってきます。ご意見としてお伺いし、県庁につなぎます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑥</p>	<p>丹波地域は、農業水利施設の老朽化対策が必須であり、これを除外して食糧の安定化は得られないと思われる。年々農業者数は減少、高齢化しており事業負担の体力はない。行政としては事業の地元負担率の軽減を図るべき。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 担い手への農地の集積を高度に行うなど、取り組みによって地元負担率が軽減できる事業がありますので、引き続き活用への取り組み支援や啓発等を進めていきます。</p>

<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向⑥</p>	<p>獣害対策は「森」の部で取り組む内容とされているが、田畑の作物被害は甚大で農業者の就農意欲の喪失や耕作をやめるなどメンタル面のマイナスが獣害にあると思われる。獣害対策は新規就農者等が定着する絶対条件だ。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 獣害による被害防止対策は、地域全体にかかわる課題であるため、新規就農者だけに限らず既存の農業者も含めて取り組みを進めています。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向⑥</p>	<p>いま小規模農家による野菜の直売店は、スーパーや大規模施設のアンテナショップと異なり人流（来客数）が少なく苦慮している。丹波地域の諸プロジェクトで「人流」を推進できれば直売店の支援にもつながるものと思われる。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 展開方向⑦「ツーリズムの新展開」に記載した各種のツーリズムプロジェクト等により、地域外からの来丹者も増やしていきたいと考えております。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向⑥</p>	<p>2050年、丹波地域の農地面積は人口のように半分にはならない。機械化・スマート農業化、農地管理主体の組織化を進めても、へき地や山間部隣接農地は大区画化等が困難。農地であっても多面的活用ができる規制緩和や、相続放棄の山林、農地の管理体制、遊休地（耕作放棄地）対策が急務である。</p>	<p>2</p>	<p>〔その他〕 ご指摘の農地を多面的活用出来るような規制緩和、相続放棄の山林、農地を管理する体制づくりは、法律の改正など手続きが必要となってきます。ご意見としてお伺いし、県庁につなぎます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向⑦</p>	<p>P31下段6行目 ・森の豊かさを楽しめる丹波ならではの旅として、林業体験や森を使った遊び・<u>研修</u>、スポーツ等を楽しめる・・・ _____部分の追加願います。</p>	<p>1</p>	<p>〔ご意見を反映しました〕 ご意見を踏まえ、本文31ページに次のとおり記述を追加しました。  「・・・、林業体験や森を使った遊び・<u>研修</u>、スポーツ等を楽しめる・・・」</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向⑦</p>	<p>独自の文化（寺院、日本遺産など）、自然（山、川、篠山層群など）、季節の恵み（農作物、田園風景など）などの当たり前の場所や風景が魅力だと地元住民が気がつき、親しむ機会を。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 本文32ページに記述しているように、丹波特有の気候・風土・地形や地域資源を活かしたユニークなツーリズムを、地元住民も巻き込んで展開していきます。</p>

<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑦</p>	<p>丹波地域に広く多く散らばっているスポットを繋ぐ仕組みを。 例えば、スマホアプリを活用したクイズラリーでそのスポットに関する簡単なクイズを出題する事で参加者がスポットについて学ぶ機会とし、周辺にいる地域住民にクイズについて尋ねる事で繋がりが生まれる → 地域住民は、魅力に気が付くきっかけになる。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 展開方向⑦「ツーリズムの新展開」において、地域資源を活かした新たなツーリズムを地域主体、住民主導で進めます。 丹波地域に広く多く散らばっているスポットを繋ぐ仕組みの構築も検討していきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑦</p>	<p>競い合うよりも年齢・体力に関わらず、誰もが楽しめ、挑戦しやすいニュースポーツ（グラウンドゴルフ、ポッチャ、オリエンテーリングなど）を公園や山で行い、運動不足解消やコミュニティの創出に繋げる。トレイル整備による森林活用と保全・回復活動も合わせて行える。 広い丹波地域のスポットを自動車で移動するのではなく、スポーツサイクルを使う事で道中の田園風景や溪谷・記念碑や塚などに立ち止まりやすく、地域の魅力の再発見にも繋がると考える。また、運動不足解消やゴール後の達成感が日々の生活をポジティブにしてくれる。 日本各地で盛んに行われているが、地域の魅力・特徴を盛込んだ事業展開と地域に受け入れられる環境を整える必要がある。地元住民がサイクリストを危険だと認識する前に、農作業中や生活道路で声を掛けるなどのもてなす機運を醸成できないか。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 本文33ページに記述しているように、サイクルツーリズムの展開を目指していく中で、環境整備や関連する事業の推進についても検討していきます。</p>

<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑦</p>	<p>高齢者の割合は加速度的に増えていく。このことが観光に与える影響を考えると、マンパワーが特に必要な観光資源の要である伝統文化の継承が困難になり、祭りイベントの開催が危ぶまれる。さらには、丹波篠山の特産物を栽培する農家や販売店の人手が減少することで特産物の品質への悪影響や生産量減少や特産物を取り扱う老舗事業所の廃業(継承者不足)への懸念もある。</p> <p>①どうすれば流通の循環を良くすることができるのか②どうすれば健康寿命の延伸を図れるか③どうすれば関係人口をふやせるのか④デジタル活用の波及促進の方法⑤移住者の増加を促進できる方法⑥地場産業を支えている老舗事業所(個人商店)の保護継承の方法という風に、具体的な実現に必要な方法(制度、助成金交付等)の立案と整備を実行しなければならない。</p> <p>現状においても各種制度、助成金交付やインフラ整備計画等はすでにありますが、さらに充実させて手厚い対応が早期に必要。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 ご意見の点については、「たんばフードバレー・プロジェクト」「持続可能なコミュニティ・プロジェクト」「スマート・コミュニティ・プロジェクト」「シリ丹バレー構想プロジェクト」といったプロジェクトを推進していく中で、具体的な課題解決の方法を検討し、取組を実行していきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑧</p>	<p>農業振興を行う上では市町村単位の活動は限界がある。グローバルな市場に働きかけるには広域でブランドを統括し、情報発信していく必要を求める。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 丹波篠山市、丹波市の農産物は確立されたブランドが多く、それぞれのブランドのポテンシャルを活かしつつ、情報発信、販売促進、誘客等の取組を進め、丹波地域全体のブランド化を図っていきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑧</p>	<p>2050年を考えると、世界が一層近くなっていると思う。その過程で行政機関の果たす役割とは何か課題となる。優れた特産品やその加工品の海外への輸出に県が橋わたしをしたり、同時に人的交流を進める役割を果たしていただくと、地域の農家や加工業者に活気を呼び起こすと思う。それが出来る人材の採用や養成をしていただきたい。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 本文34ページ&lt;推進すべき主な取組&gt;の「地域中核企業のグローバル転換支援：国内外の産業展等への出展支援」や他のシンボルプロジェクトの中で、輸出の橋渡しや人的交流の推進等の支援を進めていきます。</p>

<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑧</p>	<p>市場で優位に立つには、ボリュームは必須である。歴史ある作物を深堀することが付加価値を高める。市場での地位の確立を果たせてきたのが丹波の農産物なのでそれをいかに継続させるかを常に研鑽する必要がある。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 丹波篠山市、丹波市の農産物は確立されたブランドが多く、それぞれのブランドのポテンシャルを活かしつつ、情報発信、販売促進、誘客等の取り組みを進めていきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑨</p>	<p>「シリ丹バレー構想」と銘打って10年後の地域に変革をもたらそうとする姿勢に大いに魅力を感じる。事業展開ゾーンを早期に決定していただければ。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 「シリ丹バレー構想」は、民間企業、経済団体、大学、行政、市民・NPO等からなる産官学民のネットワーク形成を進め、地域イノベーション・エコシステムの構築を図る、という構想です。その取組は、地域全体で推進していきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑨</p>	<p>地域の小規模事業者の減少傾向は商工会にとって大きな課題であるため、起業・事業承継については、率先して対応すべき事項として捉えている。 起業については、常時の創業相談と合わせて、例年「丹波ささやま創業塾」を開講。また、アフターフォロー支援も含めて取り組んでいる。但し、起業支援組織としては「篠山イノベーターズスクール」も同市に存在しており、その住み分け・役割分担等が不明瞭だと感じる部分もあるため、新しく、より大きな構想の中で、その住み分け、スキームや流れを整理して連携していくことも、より効果を上げるためには必要だと感じる。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 「シリ丹バレー構想プロジェクト」における起業支援の取組の中で、既存組織との棲み分けや連携も考慮しながら、より効果的に取組を展開できるよう検討します。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑨</p>	<p>事業承継の課題として特に大きな後継者不足問題については、血縁者に後継者がいない事業者の第三者承継は、非常に難易度が高く、効果的な支援方法やシステムの活用が望まれる。 商工会として、これらを始めとする、様々な地域及び経営課題についても、ビジョンと課題を共有、連携協力させて頂きたい。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 「シリ丹バレー構想プロジェクト」における事業承継支援の取組の中で、商工会とも様々な形で連携協力させて頂きながら、難易度の高い課題についても、その効果的な解決方法を検討していきます。</p>

<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑨</p>	<p>先輩企業者の方や現役の経営者の方から生の声を聞く機会が増えることで、廃業のリスクを軽減でき、新たな販路開拓や課題解決につながられる可能性は非常に高くなると思う。 新規起業者と事業承継のマッチング的なことにつながれば、さらに地域経済にとっては大きな成果となる。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 「シリ丹バレー構想プロジェクト」における起業・事業承継支援の取組の中で、起業志望者と起業家との交流を進めるほか、新規起業者と事業承継のマッチングについても、人材登録制度などを活用してその可能性を検討していきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑩</p>	<p>丹波地域の人口減少の大きな要因は、大学等への進学による人口流出が大きい要因と考える。 キッズ・ファーストプログラムで検討されている様に、如何に子どもたちに地域の歴史文化、環境、農林業、地場産業等を知ってもらい、親しんでもらえるかが重要。 丹波地域のことをよく知り、愛着と誇りを持てる子どもたちをたくさんつくることで、田舎に帰って、ふるさとのために働く若者が増えてくるのではないか。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済です〕 本文41ページに記述しているように、地域こども・子育て応援プログラムを展開していく中で、子どもたちの丹波地域へのふるさと意識の醸成を図ります。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑪</p>	<p>私は丹波市に住んでいますが、丹波篠山市や三田市、西脇市や多可町などの名所や食べ物などの宣伝や交流などがもっとあってもよいように思う。季節ごとに兵庫県内の各地の催しが分かり、行き来できるような県内交流を促進することも、県内活性化の方法ではないかと思う。さらに広げれば、近畿地域の交流促進も考慮していただければ。</p>	<p>1</p>	<p>〔今後の検討課題〕 県内市町や、近畿圏内の広域的な連携を含め、県民局・県として、更なる交流促進を検討していきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向 ⑫</p>	<p>丹波に帰ってきて感じることは、丹波の中だけで生活してこられた方々と他の市や都市の住民との交流が必要なように感じる。オープンで民主的に気持ちよくことを進めることが阻害され、自由な発想や発展が拒まれていることもあるように思う。新ビジョンを展開されるにあたり、この点にも留意頂ければ有難い。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済です〕 ご意見の点は、「シリ丹バレー構想プロジェクト」で展開していきます。 移住者と地元の方との交流を促進するほか、イノベーション創出や事業創造に向けた新しい交流、情報交換、知識共有の場と機会を創り出していきます。</p>

<p>V 将来像実現に向けた方向性 展開方向⑱</p>	<p>どこで暮らしていても、どのような立場でも、正しく平等に公助の情報を受け取ることができる社会であることが必要（子どもの人権、高齢者、医療）。</p>	<p>1</p>	<p>〔今後の検討課題〕 「持続可能なコミュニティ・プロジェクト」「スマート・コミュニティ・プロジェクト」等の取組の中で、デジタル技術も活用した地域全体での共助の仕組みを構築しつつ、公助の情報も受信・発信できるよう検討します。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 全体</p>	<p>ドローン宅配や自動運転など、この遠すぎない地域の特色と過疎の面をうまく活用した取り組みが、丹波活用であり強みになると思うのでぜひ実現してもらいたい。 今後30年以内に発生する南海トラフ地震等の大規模災害において、この遠すぎない距離感である丹波が「災害復旧のメイン基地」としての機能を有することが出来るのではないか。 今回のビジョンの中には、この面が無いのでぜひご検討頂きたい。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 兵庫県では、三木市に全県の広域防災拠点を整備しています。他地域が被災した際には、丹波地域でも広域防災拠点と連携しながら、支援の取組を進めていきます。  また、防災については、ご意見を踏まえ、本文27,43ページに次のとおり記述を追加しました。  展開方向③ &lt;取組の方向性&gt; 「・・・災害時の広域的な相互応援体制の構築を図ります」 &lt;推進すべき主な取組&gt; ・受援力の強化：災害ボランティアの受入体制等の整備 ・災害時相互応援体制の構築：自治体間、地区間での応援協定の締結  展開方向⑱ &lt;取組の方向性&gt; 「・・・防災・避難体制の構築等を進め、・・・」</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 全体</p>	<p>福祉、食に関する病気、健康がすくない。地域と防災はまだまだ確立と今後も思案と工夫が必要なカテゴリーと感じる。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 福祉や健康などの地域課題に関しては、本文34ページに記載の、展開方向⑨「シリ丹バレー構想の推進」の中で、その解決に資するビジネスの立ち上げを支援します。 また防災の分野において、地域防災訓練の実施や災害ボランティアの受け入れ体制等の整備をしつつ、配慮の必要な方への支援も進めていきます。</p>
<p>V 将来像実現に向けた方向性 全体</p>	<p>プロジェクトや取組など具体的に書かれている内容で「～します」と記載されている内容については、主体・担い手を具体的に記載する必要があるのではないか。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 各プロジェクト毎にプロジェクトチームを結成していく中で、より具体的な担い手の検討、取組の企画、提案、実施をしていくこととしています。</p>

<p>VI 新地域ビジョンの推進に向けて</p>	<p>丹波の価値をアウトプットできるものが欲しい。例えばCO2や生き物など数字を示し、日本全体の社会に必要な丹波だということがアピールできるようなもの。その価値を、この地域の人誇りを持って担い、多くの方々（外部の人も含む）に支え手になってもらう仕組みが必要。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 新ビジョンでは基本理念として、新たな価値の共創を掲げています。その価値の数値化については、今後、新ビジョンを具体化していく中で議論していきます。</p>
<p>VI 新地域ビジョンの推進に向けて</p>	<p>このプラットフォームが、官民がうまく連携しPDCAが回る仕組みにして欲しい。挑戦を排除しない仕組みにぜひして欲しい。30年後を生きるのは今の40代以下が中心。その世代の意見を中心に未来を作る仕組みを作って頂きたい。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 ご意見を踏まえ、プラットフォームの結成、プロジェクトの推進に取り組んで参ります。</p>
<p>VI 新地域ビジョンの推進に向けて</p>	<p>新しく活動を始めた団体や個人もプロジェクトに取り入れてもいいのではないかと思う。森作りも退職後の活動が多く高齢化が進んでいるので、若い力を取込む情報発信を考えてはどうかと思う。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 本文47ページに記述しているように、プロジェクトチームの編成にあたっては、新しく活動を始めた団体や個人を含め、人材を広く募ります。プロジェクトチームでは、情報発信にも努め、若い力も積極的に取り入れていきます。</p>
<p>VI 新地域ビジョンの推進に向けて</p>	<p>パブリックコメントミーティングに参加したので、こういう機会をもっと増やす必要があると感じた。 たんばユースチームの高校生の募集方法は、地域で活動している高校生のグループなどからも選ばれるようにする方がより活発的な人が集まると思う。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 新ビジョンの実現に向けた共創の仕組みとして、プラットフォームをはじめ、様々な人が参画できる場をつくっていきます。 たんばユースチームの募集方法についても、意欲を持った人が活躍できるような募集方法を検討していきます。</p>
<p>VI 新地域ビジョンの推進に向けて</p>	<p>みんなが活躍できる具体的な形を、様々な世代の住民に専門家も入って考える場を希望する。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 本文46ページに記述しているように新ビジョンの実現に向けた共創の仕組みとして、様々な人が参画できる場としてのプラットフォームを結成します。</p>

<p>VI 新地域ビジョンの推進に向けて</p>	<p>プラットフォームの具体化、プロジェクトチームの具体化、担い手の具体化等をどのように進めるのかを記載する、またはビジョンに記載できないとしても、今後の各年度の計画で具体化する必要があると思う。 各市、各地域には似たようなチーム、組織、グループ、従来からの自治組織もあり、それらとの協働についてももしっかり検討とビジョンに記載または各年度の計画で検討する必要があると思う。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 各プロジェクト毎にプロジェクトチームを結成していく中で、より具体的な担い手の検討、取組の企画、提案、実施をしていくこととしています。 同種の組織やグループとの協働・連携についても、プロジェクトチームで積極的に取り組みます。</p>
<p>VI 新地域ビジョンの推進に向けて</p>	<p>プラットフォームの枠外になる人達への働きかけや、外れる対象者がいないような仕組み作りが必要。</p>	<p>1</p>	<p>〔既に盛り込み済みです〕 本文46ページに記述しているように、プラットフォームでは、様々な人が参画しやすいように地域の仮想コミュニティ化（地域運営のデジタル化）も推進します。</p>
<p>その他</p>	<p>この様な地域づくりに関する資料は、一般市民が見てもわかりやすく、作成してほしい。子どもたちでも理解できるような冊子や資料も作成することも検討していただきたい。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 本編とは別に概要版の冊子を作成します。また、必要に応じて小中学生向けの資料の作成も検討していきます。</p>
<p>その他</p>	<p>高校生には少し難しく感じた。しかし、もっと若者に広がるように参加募集方法の工夫、ビジョン案をわかりやすくするなど考える必要があると感じた。</p>	<p>1</p>	<p>〔今後の検討課題〕 たんばユースチームの募集など、若者にもビジョンの推進の担い手として活躍いただけるよう、発信方法に工夫して取り組みます。 またユースチームの皆さんには、若者向けにビジョンを発信する役割を担っていただきます。</p>
<p>その他</p>	<p>全体の雰囲気、いかにもお役所的な感じがして残念だ。これを見てワクワク感を感じられない。何かコレと言える、将来像を示す大きなキーワードがほしい。</p>	<p>1</p>	<p>〔今後の検討課題〕 ご意見の点については、新ビジョンの方針に沿って将来像の実現に向けた取組を推進していく中で、参画いただく皆さんとともに考えていきます。</p>
<p>その他</p>	<p>これまでのビジョンで、どのような成果があり実現してきたのか具体例を見せて頂ければ有難い。 すばらしいビジョンを出すのも大事だが、それが実現されているかはもっと大事だと思う。実現して価値があるのでそこまで責任を持っていただきたい。</p>	<p>1</p>	<p>〔その他〕 本文9,10ページにおいて、5つの将来像の評価検証結果を記述しています。また今回のパブリック・コメントでは公表しておりませんでした。別冊の資料編において、丹波地域ビジョン委員（第1期～第10期）のこれまでの活動成果を示しています。 新ビジョンについては、活動の成果を絶えず検証し、その成果の発信に取り組むほか、課題があれば内容を刷新していきます。</p>

その他	このビジョン案の市民、県民に対する説明会のような機会があったのか。今後においても可能ならばお願いしたい。	1	〔その他〕 検討過程において、様々な分野の方から将来の展望や課題などをお伺いした上で、新ビジョンを策定しています。 今後においても、多くの方々に新ビジョンへ参画いただく機会を、広く提供していきます。
その他	今私たちが暮らしている丹波市を内外からの視点で見ること、考えることが大切なのではないかと思う。丹波市在住者ではない方の意見が反映されるというのは、とても意味のあることだと思う。これからも住み続けたいと思う者のひとりとして、色々な角度から見た丹波新地域ビジョン（案）に期待したい。	1	〔その他〕 新ビジョンの推進組織となる「プラットフォームTAMBA」において、地域外の関係人口も地域づくりに参画いただき、様々な角度から新ビジョンを推進していきます。
その他	各論としての取組内容について、具体性、入力割合（強弱）、時期性の視点でみると少し弱い気がする。 表現されている言語については、巻末の注釈を見ないと理解しにくいし、記載されている頁内に簡略した説明が欲しいと思った。	1	〔その他〕 各論としての取組内容は、例示的にお示ししているものです。各プロジェクト毎にプロジェクトチームを結成していく中で、より具体的な取組を企画、提案、実施していくこととしています。 また、表現言語についてご指摘いただいた点は、製本の段階で対応します。
その他	とてもよくできたものが出来ていると思う。	1	〔その他〕 将来像の実現に向け、様々な取組を展開していきます。
その他	ビジョン委員会について、参加することにより会全体としても、また個人としてもメリットがあるような条件を提示して、応募者を増やすことが重要な課題であり、明確なメリットを打ちだすべきだと思う。 このビジョンを本気で実現しようとするならば、さらに応募の呼びかけの努力をしていただきたい。県のすばらしいビジョンを実現する原動力確保に予算を付けるのは当然の施策だと思う。	1	〔その他〕 現行のビジョン委員会という組織体制自体は解消となり、新たな推進体制のもと、将来像の実現に向けた取組を進めていきます。 様々な人が地域づくりに参画しやすいように、地域の仮想コミュニティ化（地域運営のデジタル化）を推進するなど、実効性のある推進体制を築いていきます。